

授業科目	*ヒューマンサービス基礎演習 (Aクラス)				単位	1		
履修	必修	関連資格	保育士		ナンバリング	WE11101J		
開講年次	1	開講時期	前期	該当DP	DP4-1 DP4-2 DP4-3 DP5-1			
担当教員	杉本 有紗、山本 佳代子、水貝 洵子							
授業概要	<p>ヒューマンサービスの専門家として基礎的に必要とされるスキルについて、教員別のグループに分かれ、参加型・体験型の演習プログラムを中心とした授業を行う。学期の終わりには、演習を通じて学んだことや自分の変化について発表する。</p> <p>全受講生を3つのグループに分ける。教員3名は各教室に分かれ、第1回～第15回まで継続して学生の1グループを担当する。テーマ、行動目標は共通である。</p> <p>テーマ1 自分を表現し、人との関係をつくる。(＃2～4)</p> <p>テーマ2 グループでの話し合いや共同作業を体験する(＃5～7)</p> <p>テーマ3 コミュニケーションスキルについて考える(＃8～10)</p> <p>テーマ4 協力のためのスキルについて考え、グループ活動に生かす(＃11～14)</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>1. 自分の行動を多面的にとらえることができる(DP5-1)。</p> <p>2. 基本的なコミュニケーションスキルについて理解を深めることができる(DP4-2)(DP5-1)。</p> <p>3. 初めてのことや苦手なことにも前向きに取り組んでいる(DP4-1)(DP4-3)。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	0	0	0	100	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)						10	10	
態度(DP4-2)						10	10	
態度 (DP4-3)						10	10	
技能・表現 (DP5-1)						70	70	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<p>1. 自分の行動を多面的に捉え、継続して見直しを図っている。</p> <p>2. 基本的なコミュニケーションスキルについて理解し、他者と協力したり、リーダーシップを発揮することができる。</p> <p>3. 継続して、初めてのことや苦手なことにも前向きに取り組んでいる。</p>				<p>1. 自分の行動を多面的にとらえることができる。</p> <p>2. 基本的なコミュニケーションスキルについて理解し、他者と協力することができる。</p> <p>3. 初めてのことや苦手なことにも前向きに取り組んでいる。</p>				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	テーマ:オリエンテーション 本演習の到達目標、授業内容を説明する。自己紹介を行う。(担当:杉本有紗、山本佳代子、水貝洵子)	オリエンテーション グループの前で自己紹介を行う。	復習:振り返り記録をつける。	
2	テーマ1: 他者との出会いを体験する。(担当:杉本有紗、山本佳代子、水貝洵子)	演習課題を行った後、課題の目的を説明し、振り返りを行う。	復習:振り返り記録をつける。	15
3	テーマ1: 自分について考え、それを他者に伝える。(担当:杉本有紗、山本佳代子、水貝洵子)	演習課題を行った後、課題の目的を説明し、振り返りを行う。	復習:振り返り記録をつける。	15
4	テーマ1: 他者の考え方や感じ方を理解し、長所を見つける。(担当:杉本有紗、山本佳代子、水貝洵子)	演習課題を行った後、課題の目的を説明し、振り返りを行う。	復習:振り返り記録をつける。	15
5	テーマ2: グループで協力して解決することを体験する。(担当:杉本有紗、山本佳代子、水貝洵子)	演習課題を行った後、課題の目的を説明し、振り返りを行う。	復習:振り返り記録をつける。	15
6	テーマ2: グループの中で意見を出し合うことを体験する。(担当:杉本有紗、山本佳代子、水貝洵子)	演習課題を行った後、課題の目的を説明し、振り返りを行う。	復習:振り返り記録をつける。	15
7	テーマ2: グループで話し合い、役割分担を決め、作業を進める。(担当:杉本有紗、山本佳代子、水貝洵子)	演習課題を行った後、課題の目的を説明し、振り返りを行う。	復習:振り返り記録をつける。	15
8	テーマ3: 情報の伝え手と受け手の相互作用について考える。(担当:杉本有紗、山本佳代子、水貝洵子)	演習課題を行った後、課題の目的を説明し、振り返りを行う。	復習:振り返り記録をつける。	15
9	テーマ3: 情報伝達について考える。①言語的コミュニケーション(担当:杉本有紗、山本佳代子、水貝洵子)	演習課題を行った後、課題の目的を説明し、振り返りを行う。	復習:振り返り記録をつける。	15
10	テーマ3: 情報伝達について考える。②非言語的コミュニケーション(担当:杉本有紗、山本佳代子、水貝洵子)	演習課題を行った後、課題の目的を説明し、振り返りを行う。	復習:振り返り記録をつける。	15
11	テーマ4: 影響を与えること(リーダーシップ)について考える。(担当:杉本有紗、山本佳代子、水貝洵子)	演習課題を行った後、課題の目的を説明し、振り返りを行う。	復習:振り返り記録をつける。	15
12	テーマ4: 主張と同調について考える。(担当:杉本有紗、山本佳代子、水貝洵子)	演習課題を行った後、課題の目的を説明し、振り返りを行う。	復習:振り返り記録をつける。	15
13	テーマ4: 協調関係を強化する。(担当:杉本有紗、山本佳代子、水貝洵子)	演習課題を行った後、課題の目的を説明し、振り返りを行う。	復習:振り返り記録をつける。	15
14	テーマ4: グループで話し合い、問題解決を図る。(担当:杉本有紗、山本佳代子、水貝洵子)	演習課題を行った後、課題の目的を説明し、振り返りを行う。	復習:振り返り記録をつける。 レポート課題を行う。	60

15	テーマ:まとめ 振り返りを行い、本演習での学びについて発表する。 (担当:杉本有紗、山本佳代子、水貝洵子)	授業のまとめを行う。学生はレポートを提出し、本演習での各自の学びを全体で発表する。	なし	0
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	社会福祉を学ぶための土台となる科目であるため、積極的な取り組みの姿勢が必要である。			
テキスト	指定なし。必要に応じてプリントを配布する。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	指定なし。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	授業で学んだことを日ごろの生活やボランティア活動などで実践することが望ましい。 また、授業中に扱われた概念やキーワードについて文献等で調べ、理論的にも理解できるようにすることを期待する。			

達成度評価に関するコメント	<p>本科目では、参加型・体験型の演習プログラムを中心とした授業を行う。</p> <p>したがって、本科目では、意見を述べる機会のみならず、行動目標達成に向けた授業内における様々な活動を全て「発表」として評価する。</p> <p>行動目標1. 2. 3の評価は「その他」に分類しているが、これは「発表」と「レポート」を総合して評価する。</p>
---------------	--